

科目名	電気情報専攻実験	英語科目名	Laboratory in Advanced Course	
開講年度・学期	平成23年度・前期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻 電気情報コース1年	
授業形態	実習	必修 or 選択	必修	
単位数	2単位	単位種類	学修単位(90h)	
担当教員	担当教員	居室(もしくは所属)	電物棟・専攻科棟	
電話	担当教員に問い合わせ	E-mail	担当教員に問い合わせ	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件
	1. 電子計測機器の取扱いができること。	②	A-1	c
	2. 計測装置の必要性を説明できること。	②	B-1	c
3. 必要に応じて新しい計測システムの立案・構成が行える。	②	D-2	f	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1. 機器の取り扱い説明をうけた上で、正しく取り扱えることで評価する。 2. 提出レポート等の内容で評価する。				
評価方法				
実験の取り組み要領および提出レポート等の内容をテーマごとに評価した上で、算術平均により評価する。				
授業内容				
本実験はガイダンス後に原則として各コースで4週ずつ巡回して行い、ガイダンス・レポート指導と併せて15週となる。 【αコース】 1. PACAD/EMTDC によるシミュレーション技術(甲斐) 2. インバータの系統連系手法(北野) 【βコース】 3. PLCによるシーケンス制御技術(今成) 【γコース】 4. 単・複スリットによる光回折実験(土田) 5. 放電法によるオゾン生成実験(田中)				
キーワード	インバータ、シーケンス制御、Web ツール、超伝導、レーザ、放電応用			
教科書	担当教員の指示による			
参考書	担当教員の指示による			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	すべて			
現学年の関連科目	すべて			
次年度以降の関連科目	すべて			
連絡事項				
指導書に指示された通り実験を行うのではなく、実験テーマに関する実験の原理・方法・結果の解析について自ら調べて取り組む姿勢が要求される。共同実験と言うよりは、各自異なるテーマを設定されることが多い。				
シラバス作成年月日	平成23年2月28日			